北大形成外科

第37回

アカデミー

2018.12.8(sat) 15:00-17:30

京王プラザホテル札幌

Session 1

教育研修施設リポート

- 手稲渓仁会病院　形成外科　七戸龍司
- 日鋼記念病院　形成外科　坂本泰輔
- 苫小牧日翔病院　形成外科　吉田哲也

Session 2

大学院生研究発表

- マウス血管柄付きリンパ節移植モデルにおける移植リンパ節に関する研究　石川耕資
- 羊膜由来間葉系幹細胞を用いた糖尿病皮膚潰瘍の研究　高橋周子
- 羊膜由来間葉系幹細胞による移植脂肪生着向上作用に関する検討　伊藤梨里
- マウスモデルを用いた血中循環腫瘍細胞捕捉の試み　草島英梨香

Session 3

特別セミナー

東京医科歯科大学形成外科教授選考セミナー2018

東京医科歯科大学 形成･再建外科 教授　森　弘樹

代　　表：山本有平

事　務　局：北海道大学医学部形成外科学教室

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

e-mail : info@prs-hokudai.jp

運営委員長：林　利彦

PROGRAM

Session 1

教育研修施設リポート

（15:00~15:45）15分×3
Moderator：大澤昌之

手稲渓仁会病院 形成外科　七戸龍司
日鋼記念病院 形成外科　坂本泰輔
苫小牧日翔病院 形成外科　吉田哲也

Session 2

院生研究発表

（15:50~16:18）7分×4
Moderator：前田　拓

「マウス血管柄付きリンパ節移植モデルにおける移植リンパ節に関する研究」

石川耕資

我々はマウス遊離リンパ節移植モデルにおいて、移植リンパ節の免疫能を検証した(Maeda T, et al. Int J Cancer, 2018)。新たにマウス血管柄付きリンパ節移植モデルを開発し(Ishikawa K, et al. Microsurgery, 2018 in press)、血流状態の違いが移植リンパ節に与える影響を検証している。これまでに得られた知見につき報告する。

「羊膜由来間葉系幹細胞を用いた糖尿病皮膚潰瘍の研究」

高橋周子

間葉系幹細胞には免疫調整、抗炎症、抗線維化、血管新生、抗アポトーシス、神経再生促進など様々な作用が認められており、難治性潰瘍の治療への応用も期待される。我々は糖尿病マウスに羊膜由来の間葉系幹細胞を作用させ、創傷治癒への影響を検証している。本研究の概要について発表する。

「羊膜由来間葉系幹細胞による移植脂肪生着向上作用に関する検討」

伊藤梨里

間葉系幹細胞は、様々な細胞への分化能、各種増殖因子などのサイトカインの分泌能を持ち、現在注目されている再生医療のソースである。その中でも分娩時に破棄する組織から大量に採取可能な羊膜由来間葉系幹細胞を用いて、脂肪移植時の生着率向上を目指し、検証を行なっている。現在までに得られた知見について報告する。

「マウスモデルを用いた血中循環腫瘍細胞捕捉の試み」

草島英梨香

当教室ではここ数年メラノーマのリンパ行性転移についてマウスモデルを用いた研究がなされてきた。今年度は血行性転移における腫瘍動態を捉えるために、血液中を循環する腫瘍細胞(CTC; Circulating Tumor Cell)を捕捉する試みをしている。これまで得られた知見を報告する。

Session 3

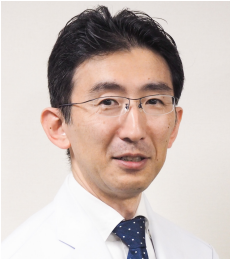
特別セミナー

（16:30~17:30）60分
Moderator：舟山恵美

“教授就任記念講演”

東京医科歯科大学形成外科教授選考セミナー 2018

東京医科歯科大学 形成･再建外科 教授　森 弘樹 先生



私が東京医科歯科大学を卒業した1993年にはまだ形成外科の講座がありませんでしたが、「医科歯科大学にも形成外科を創りたい」という前皮膚科教授　西岡　清先生の言葉に魅力を感じた私は1992年に発足した梅田 整先生をトップとする形成外科診療班の門を叩きました。最初は「形成外科」をよく分からず入ったところがありますが、医科歯科での研修、北大での国内留学を経て、その本質を理解し魅了されていきます。実は医学部を志す前は建築・都市工学を考えた時期もあり、「創造する」ことが好きだったともいえます。北大時代には二代教授　杉原平樹先生、現教授　山本有平先生、市立札幌病院　吉田哲憲先生、蘇春堂形成外科新冨芳尚先生を始め、みなさまには本当にお世話になりました。

東京医科歯科大学に戻った1999年に西岡先生の言葉通りに初代教授　秦　維郎先生のもとで講座が開設されました。以後は秦先生、二代教授　岡崎　睦先生の尽力で順調に発展し、手術件数は近年では1000件を超えるようになり、私も「一刀入魂」の思いで臨床、研究、教育に貢献してまいりました。

本セミナーでは教授選考セミナーでのプレゼンテーションで私の軌跡をご紹介するとともに東京医科歯科大学形成外科の歴史と北大形成外科の関わりについて述べたいと思います。

森 弘樹先生ご略歴

1987年 東京学芸大学附属高等学校卒
1993年 東京医科歯科大学医学部医学科卒
1993年 東京医科歯科大学 皮膚科（形成外科診療班）
1995年 中野総合病院 形成外科
1996年 浅間総合病院 形成外科
1996年 北海道大学 形成外科
1997年 市立札幌病院 形成外科
1998年 浅間総合病院 形成外科
1999年 東京医科歯科大学 形成外科 医員
2002年 同 助手
2007年 同 助教
2007年 医学博士（東京医科歯科大学）
2007年 同 講師
2007年-2008年 Ghent University, Belgium; European Institute of Oncology, Italy; Chang Gung Memorial Hospital, Taiwan研修
2018年10月 同 主任教授
～現在に至る